

## 平成 21 年度モニタリング調査実施項目

ニホンジカ保護管理計画に基づき、モニタリングを実施する。平成 21 年度に実施するモニタリング項目は以下のとおりである。

表1 モニタリング調査項目(平成 21 年度実施項目に網掛け)

	調査対象地区	調査項目		調査頻度	
植生状況調査	緊急対策地区	植生への影響の把握	上層 (1.3m以上)	上層：1回/5年	
			・種別被度及び群度 等		
	重点監視地区	植生への影響の把握	下層 (1.3m未満)	下層：毎年	
			・維管束植物についての種名、被度、食痕の有無	上層：1回/5年	
	周辺部	植生への影響の把握	※調査区は防鹿柵の内外を含めて設置し、効果を検討する。緊急対策地区では、ミヤコザサ、スズタケの稈高、被度について調査する。	下層：毎年	
				上層：1回/5年	
生息状況調査	緊急対策地区	生息密度の把握	糞粒法	毎年	
			区画法	1回/5年	
			ルートセンサス	毎年	
	重点監視地区	生息密度の把握	行動域調査	テレメトリー法 (GPS 発信機)	毎年
			捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状態に関するデータを収集する。	毎年
			捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状態に関するデータを収集する。	毎年
	周辺部	生息密度の把握	糞粒法	毎年	
			ルートセンサス	毎年	
	周辺部	生息密度の把握	糞粒法	1回/5年	